



清瀬二中だより

より豊かな心をつちかう より深く自ら学ぶ よりよくはたらき責任をはたす よりたくましく心身をきたえる

教育目標

愛情 学力 勤労 健康



マラソン大会 FINAL 11/24(金)開催

～ 18年の歴史に幕をおろします。～

11月に入りましたが、文化の日の連休あたりは気温が上がり、夏日を記録するという暖秋で、色づき始めた学校のハナミズキもまだ赤く、銀杏はまだ緑色のまま、こんなに暖かい11月上旬は半世紀ぶりとのこと。

そうはいつてもやはり、朝夕はすっかり気温が下がり、衣替えの時期は終わり、生徒たちも長袖で通学をするようになり、秋は確実に近づいてきています。



10月上旬の合唱コンクールが、もうだいぶ昔のように感じます。10月は中間考査に始まり、専門委員会、英検、中央委員会、2年救命救急講習、3年進路学習・学力テスト、英語能力向上事業、3年赤ちゃんのちからプロジェクト、1年セーフティ教室、道徳授業公開講座、生徒総会、2年職場体験、1年体育講習会・出前授業、5組校外学習、そして運動部は新人大会もありました。学校以外でも、地域の様々なイベントや活動がなされ、生徒によっては習い事の発表会や大会などもあったと思います。

秋はスポーツの秋、読書の秋、勉学の秋と言われるように、何をやるにも良い季節ですが、なんともすごいスケジュールでした。2学期を通して、命の教育週間、ふれ合い月間、修学旅行から始まり、学校学年大小合わせると、ゆうに30以上の取組みがあり、一週間に1つのペースとなります。

秋は良い季節なので、色々な教育活動を始めるうちに、いつの間にか、満杯になってしまったように感じます。コロナ禍をきっかけにR2年より年間予定の検討をはじめ、昨年からスピーキングテストが加わり、さすがに生徒や保護者、教職員の負担が限界にきていると感じました。そしてその検討の結果、秋行事の締め括りとしていたマラソン大会について、本年度の第18回大会をもって、終了という判断にいたりしました。

残念に思う生徒や保護者、地域の皆様も多いと思いますが、ご理解をお願いいたします。マラソン大会の意義は、体育の長距離走の取組みで継続していきたいと考えています。すでに生徒実行委員会が始まっています。3年生を中心に、生徒の力で、有終の美となる大会を作り上げてくれることをお願いいたします。

11月 学校行事予定



11月 1日(水) 3年進路面談始 1年スキー教室保護者説明会	20日(月) 生徒会朝礼(募金勉強会)
3日(金) 文化の日	21日(火) 専門委員会
8日(水) 定期考査週間始	22日(水) マラソン大会前日準備
10日(金) 1年交通安全教室	23日(木) 勤労感謝の日
13日(月) 学校朝礼、マラソン大会前検診	24日(金) マラソン大会
15日(水) 期末考査(音、技家)	26日(日) 3年スピーキングテスト
16日(木) 期末考査(国、英、理、体)	27日(月) マラソン大会予備日
17日(金) 期末考査(数、社、【美】)	28日(火) 中央委員会
	30日(木) 全校三者面談始



【お知らせ】ホーム&スクールによる学校からの通知について

本年度より、新たに添付機能がある連絡用ツール「ホーム&スクール」が導入され、登録率が95%を超えました。ご協力に感謝いたします。今後は連絡内容によっては電子配信のみの通知が増えていきますので、ご理解をお願いいたします。

登録がお済みでないご家庭は登録のご協力をお願いいたします。登録にはIDが必要となりますので、学校までご連絡ください。よろしくお願ひいたします。**次号の学校だよりは、デジタル版のみとなります。また、HPにも掲載いたします**ので、ご覧ください。

● 「ふれあい月間」 ～いじめ防止強化月間～

東京都教育委員会では6月と11月をふれあい月間と定めていじめや不登校、暴力などの問題を未然に防ぐ取り組みを進め、特にいじめ防止強化月間として、いじめアンケートなどを行っています。平成25年に「いじめ防止対策推進法」という法律ができ、清瀬市でもいじめ防止基本方針が定められました。

そこには、「いじめは、人として決して許されない行為です。しかしながら、いじめは、人間の心の成長の過程で、誰もが行ってしまいう危険性のあるものです。見過ごしてしまうことにより、いじめられた生徒のみならず、いじている生徒にとっても、人格の形成にかかわる重大な問題となります。そのため、学校・家庭・地域社会が一体となって、継続して、未然防止、早期発見、早期対応に取り組むことが重要です。」と記されています。



パンなどを放っておくと、緑や黒、白色のカビが生えてくることがあります。カビはキノコと同じ菌類の仲間でおよそ10万種類もあるといわれています。中には抗生物質などの薬のもとになったり、麴など発酵食品を作るのに使われなど、人の役に立つものもあります。また、食物連鎖では最終分解者として物質の自然循環の基盤にもなっていますが、多くの場合、食べ物を腐らせてしまうなど、有害です。

カビは顕微鏡でないと見えない胞子という小さい粒から発芽して増えます。その胞子は、空気の中のいたるところに浮遊していて、どんなに注意をしても食べ物についてしまいます。付着を防ぐのは至難の業ですが、胞子がついても、発芽しないようにすることはできます。カビは、日が当たらない、ジメジメした環境が好きです。逆に日が当たり、風通しの良いところは苦手です。そんな環境を作れば、胞子のままでカビにはなりません。

いじめも似ています。どんな人の心にもその胞子がつくことがあります。しかし、それが発芽しないような環境であれば、大丈夫です。どんな環境ならば良いのか、どうすればその環境がつかれるのか、みんなで考える必要があります。そして、その環境を作れるのも皆さんです。一緒にそんな環境を清瀬二中に作り上げましょう。

「いじめについて考えよう」 道徳授業 全学年

清瀬二中では、生徒みんなで、いじめについて考える道徳の授業を行っています。今年は、授業の最初に学校長からの「ふれあい月間の取り組みやいじめについて」のメッセージビデオを視聴した後、NHK制作の『いじめをロックアウト「3月のライオン」で考えるいじめのこと ～動きたくても動けないのはなぜ?～』という番組を使って、みんなで考えました。



https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005170379_00000

【動画】「いじめをロックアウト (NHKfor school)」 ※上のURL 又は、QRコードからご覧いただけます。

■ 後期生徒総会 10/23 (月)

後期生徒総会を開催しました。1・2年の新生徒会本部役員の最初の仕事です。生徒会長による所信表明演説に始まり、各専門委員長による後期活動方針・活動内容の説明、質問への回答がありました。1、3年学級委員会以外は、2年生の委員長による初仕事でもあり、緊張をしていたようです。無事に質疑応答も終え、提案承認の採決で、オレンジ色の議案書が多数掲げられて、ほっとしたようでした。それぞれの委員会で掲げるスローガンはとても素敵で、どんな活動を生徒たちが展開してくれるのか、わくわくしています。



■ 商業高校の先生による「マナー講習」 2年生 10/16 (月)

今月末に2学年では「2days きよクエ Work」(職場体験)が実施されましたが、それに先立ち、都立第四商業高等学校の商業科の先生を講師にお招きして、「ビジネスマナー講習会」を開き、社会人マナーを学びました。自己紹介や挨拶の所作、就業中のマナーや名刺交換などの実技もしました。まずは事前訪問で、その成果を試してみました。



■ セーフティ教室 ～薬物乱用防止～ 1年生 10/20 (金)

1学年で、明治薬科大学の先生を講師にお招きして、薬物乱用防止のセーフティ教室を実施しました。麻薬といわれるもの以外でも、依存性がある薬や物資はたくさんあり、興味本意でも絶対に手を出してはいけないこと。心身の成長途上である皆さんには、アルコールやたばこ等も、大きな害になることを改めて学びました。ありがとうございました。



清瀬二中の生徒たちの活躍！ おめでとう！

【サッカー部】

- R5 年度 第1 1 支部サッカー新人大会 第3位
- ★R5 年度東京都中学校サッカー新人大会 出場決定！



【陸上競技部】

- 第60回東京スポーツ祭典陸上競技大会
男子中学 1500m 第3位 、 女子中学 800m 第2位
- 第3回港区陸上競技大会
女子中学 走幅跳 第3位



【バドミントン部】

- 清瀬市内中学校バドミントン大会
女子個人戦ダブルス 準優勝



【ビブリオ・フォーラム】 清瀬市教育委員会主催

- 書評発表代表生徒 2年生 紹介本「ライオンのおやつ」
2年生 紹介本「探偵はもう、死んでいる」

【清瀬市 図書館を使った調べる学習コンクール】 清瀬市教育委員会主催

- 中学生の部 優秀賞 2年生「町から街へ～清瀬市は埼玉県ではなく東京都だ～」
優秀賞 2年生「動物の視野」



【清瀬ひまわりフェスティバル写生コンテスト】 清瀬市主催

- 佳作 作品名「ひまわりばたけ」 1年生

※ 家庭配布紙版には氏名を紹介しています。

■ 「救命技能認定書」をもらいました。 2年生 10/12 (木) 19 (木)

毎年、2学年で救命救急講習会を実施していますが、今年は学年を2週に分けて、大人も受講する「普通救命講習」を本格的に受講しました。講習には、消防署と東京防災救急協会から16名ほどの方が来校していただき、心肺蘇生を中心とした講習を受けました。生徒たちは1～3校時まで連続受講をこなし、3年間有効の「救命技能認定証」を取得しました。二地区青少協等の地域の方や保護者の方も参加くださいました。AEDも自動化が進んでいるようで、技術や方法も日進月歩、救命の常識も変化しているので、やはり時折、講習会を受けるのがよさそうです。



■ 中空糸膜って？ 素材メーカー出前授業 1年生 理科 10/12 (木)

1年生の理科で、水に溶ける現象や水溶液から物質を取り出す方法について学習をしましたが、それに関連して、素材メーカーの東レ(株)さんによる出前授業をもらいました。中空糸膜という水処理技術に使用されている素材を使い、食塩と絵具が溶けている水溶液から真水を取り出す実験をしました。この技術は水に困っている世界中の国・地域で水処理に使われ、SDGsの目標である「安全な水を世界中に」にも貢献し、また医療でも人工透析器に利用されているそうです。



■ アルティメット講習会 1・3年生体育 10/11 (水)

男女共修の体育は、フライング・ディスクを使った「アルティメット」競技を取り入れています。昨年に引き続き、日本フライング・ディスク協会から、元日本チャンピオンの講師の方と、現役日本代表の大学生の方をお招きして、1年生を対象に講習会を行いました。またそのあと、ご厚意で急遽、昨年ご指導をいただいた3年生の授業にも参加くださり、試合をしてくださいました。ありがとうございます。1年生は初めてでしたが、講師の先生が投げたロングスローのパスをダッシュして、見事にキャッチできると、歓声があがり、とても楽しそうでした。



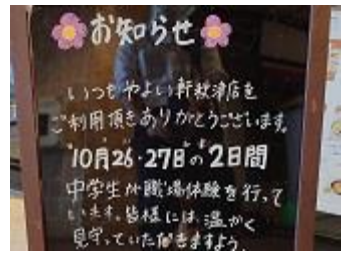
■50の事業所で「2days きよクエ Work」 10/26(木)~27(金)

～清瀬で学ぶ～ 2年生キャリア教育/教育職場体験

10月26日・27日の2日間、2年生の職場体験を実施しました。「2days きよクエ Work」とのタイトルどおり、清瀬を学ぶ取り組みの第3弾も兼ねています。

今回は、生徒たちが自ら職場体験先を開拓してくれました。体験先へ電話アポやコンタクト、体験依頼など、とんとん拍子で進んだ生徒もいますが、打診をしても、体験を実施されていなかったり、休業日と重なったりとなかなか見つからず、また、一度承諾を頂いた後に予定が合わないなど、苦労をした生徒もいますが、最終的には、50の事業所で、体験が出来ることになりました。ありがとうございます。

お店のメッセージ・ボードで、お客様にお知らせをしてくださっている事業所もたくさんありました。地域の皆様の温かい心遣いをとてもうれしく思います。生徒たちは、「職業を持つ、働くとは、」というキャリア学習とともに、自分の知らない世界を、地域の方々から学び、清瀬という地元も知ることができる機会にもなりました。地域の皆様には、大変お手をかけましたが、生徒たちに貴重な経験をさせて頂き、心より感謝申し上げます。



■自然との共生を考える 道徳授業地区公開「講演会」 10/21(土)

今年の道徳授業地区公開では、「トキと環境に関する事業を行い、トキと人間が共生できる社会づくり」を目標に活動をされているNPO法人トキとき応援団の理事長さんを佐渡島より講師にお招きしてご講演をいただき、SDGs「持続可能な社会の実現」にも提唱されている人間活動と自然との共生について、考えました。トキの復活には、環境省の科学的な取り組みだけでなく、里山づくりなど、地域の方々の理解と協力、努力がないと成功しなかったそうです。日本全国で、再びトキが舞う日がくると素敵ですね。



【道徳授業地区公開】 10/21(土)

今年の道徳授業地区公開は、SDGs(持続可能な社会の実現)にも関連し、「自然との共存」をテーマに、自然・生物・命・環境について、学年ごとに実施しました。1学年では、生物の絶滅危惧問題など、現在の社会が抱える環境問題を考え、自分ができる身近な環境活動について、5組は鳥が主人公の読み物資料を使って命について、2学年は「ある村に道を通す計画があるが…」という仮想環境問題に対して、賛成・反対の意見を出し合うディベートを通して、人間活動と環境問題について、3学年は26年前に起こった「ナホトカ号重油流失事故」をテーマにして、人類の活動と環境問題について、それぞれ考えを深めました。



■23名の赤ちゃんが、やってきた！ 3年生 10/17(火)・18(水)

3年生を対象に、昨年度から復活(コロナ禍では休止)した「赤ちゃんのちからプロジェクト」を子育てネットワークのピッコロさんのご協力を受けて、実施しました。初日には10名、2日目には13名、のべ23名の赤ちゃんが、清二中にやってきてくれました。家庭科や保健の授業で、新生児や保育のことを学びますが、やはり実際に乳幼児に触れ、その重みや温かさ、香りなどを体験し、小さな命に触れることで、学ぶことがたくさんありました。赤ちゃんやご両親、スタッフの皆さん、のべ90名以上の地域の皆様のご協力を頂き、実施できる学習です。ありがとうございました。

